
休日

久楽美月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

休日

【Nコード】

N4966V

【作者名】

久楽美月

【あらすじ】

とある休日。

そこにはあらずじもなにも存在しないしなし。
全てがノープラン。

(前書き)

何事も挑戦だと思って書いた。
そんな一作です。

AM7:15

平日となんら変わらない時間。

けたたましく鳴り響く携帯電話のアラームによって睡眠を妨害される。

いつもより離れた位置に置かれた携帯電話。

折り畳みのベッドから出ずに触ることは、まず不可能な位置に存在していた。

あー、もう。

動かない体に鞭打って無理やり起き上がると、重い体を引きずりながら携帯電話にたどり着く。

その瞬間。

アラームの音がピタリとやむ。

でも、どうせスヌーズ機能を搭載しているので、手動でアラームを操作する。

その後は、せっかく早く起きたのだからと、まずはシャワーを浴びることにした。

最近はだんだんと日も高くなり、夏の到来を日に日に感じざるを得ない気候が続いている。

朝になると汗も大分かいているわけだ。

AM7:45

シャワーでさっぱりした後には決まっている。

水分補給のために冷蔵庫を開け、紙パックの牛乳をグイッと喉に流し込む。

この瞬間がたまらなく心地がいい。やはり風呂上りは牛乳に限る。

思い切って『おいしい牛乳』にしておいて良かった。と過去の自分の選択を密かに褒め称えた。

テレビの電源を入れると、さすがに日曜ということもあって、この時間にやっている番組の種類も違ってくる。

特撮もやっていたら、

アニメもやっているし、

政治家の討論番組に

旅番組。

テレビ局の人間も視聴者を飽きさせないために頑張っているのだなと感心しつつ、

国营放送のニュースを観ることにした。

別に民営がどうか国营がどうか、こだわりはないが、

日曜のこの時間に私の琴線に触れる番組は存在しないのだ。

ニュースでは足を引っ張り合う政治家を残念がるニュースが一番多かった。

国营でこれなのだ、

この国も先が見えているな……

と、達観した考えを持ったところで、何をどうするわけでもない。

なんだかんだ言って来年の就職活動嫌だなあ、

などと現実逃避をする大学二年生の自分もまた自分なのだ。

PM0:52

結局のところニュースを観ていたら、眠さをこらえきれずベッドに逆戻りしていた。

……いつもの時間だ。

腹が減ったので、昼飯にする。

冷蔵庫横のダンボールには、買い置きした精鋭たちが色取り取りのパッケージを主張しあっている。

そこから三つを取り出し、90×90の正方形の冬はコタツにも

なる優秀なテーブルに並べて置いた。

日清 カップヌードル

ペヤング ソース焼きそば

マルちゃん 赤いきつね

漆黒のテーブルが背景となってパッケージがよく映える。

いずれも日本を代表するエースばかりだ。

カップラーメンのワールドカップなるものが存在するならば、

間違いない優勝を狙える位置に在るであろう。

なお、大学二年生の昼食に大した期待をしてはいけないのが、世の中の常識である。期待していいのは、どこぞのボンボンか、甲斐甲斐しく世話を焼いてくれる彼女・彼氏がいるやつか、料理が趣味という変人くらいだ。いや、変人は語弊がある。料理が趣味という素敵な人くらいだろう。

ともかくにも休日にはカップラーメンと相場が決まっているのだ。

正座をし、腕組みをして三者とにらみ合う。

「やはり定番と言えば私。迷うくらいなら私を食べるべきだ。冷凍ごはんをチンして組み合わせれば、腹も満たされて、まさに最強のコンビだ」カップヌードル

「いやいや、ご飯との組み合わせなら俺だって負けちゃいないぜ。

今なら冷蔵庫のマヨネーズと組み合わせたって良い」ペヤング

「僕はどっちでもかまわないよ。いつか食べてくれるんならね」赤いきつね

三者三様の意見に耳を傾け、

あえて、この三者を切り捨てる。

もう一度立ちあがるとダンボールの奥底に眠る縞模様のニクイあいつを取り出した。

日清 チキンラーメンだ。

そう、シャワーの後、牛乳を飲むために冷蔵庫を開いた時、確かにそこに『やつ』の存在を認識していた。

その名は『生卵』

やつがいるというのなら、もはや選択肢などないではないか。ありがとうペヤング。

君の主張を聞くまで、生卵の存在を忘却の彼方に置き忘れていたよ。

湯を沸かし、そそぎ、3分。フタを開け、卵を落とし、食す。

PM 3:10

うつかりしていた。

無論、おやつを食べるのを忘れた、などと、ギャグにもならないどうでもいいことではない。

むしろ、おやつなら今からでも十分間に合う。食べないけどね。そんなことではなく、洗濯である。

一人暮らしの学生というのはそこまで服は持っていないのが普通、だと思つ。

実際、服をたくさん持っている方ではない。

そうになると、懸念されるのは、洗濯を怠ることによる衣服の不足である。

もちろん下着を含めた全てだ。

そしてすでに先週、洗濯を怠るという過ちをおかした……

今週も同じ過ちを繰り返すことは許されない。

重い腰を上げ、満員電車状態の洗濯機の中を確認し、洗剤等をぶ

ち込み、

起動ボタンに手をかける。

その瞬間に、外で雨が降り出したことに気が付いた。
朝はあんなに晴れていたのに……

PM 4:00 ちょうど

雨の中、乾燥機を求めてコインランドリーに向かう。

(後書き)

面白いかわかりませんが、載せてみました。

純文学っぽいものを書いてみたかったです、

読んだ人からは、これは「エッセイ」だと言われました。

やはり読んだこともないのに純文学なんて書けるわけなのです。

書き始めたばかりなので、

これからもいろいろ模索していけたらと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4966v/>

休日

2011年10月9日09時21分発行